

本件は、本日 15:00 に
東商記者クラブでの配布も行わせていただきました。



【報道関係各位】

2012年6月29日

株式会社ベネッセコーポレーション
代表取締役社長 福島 保

BenesseLifeSmile

―被災地や発展途上国の子どもや女性を、買い物を通して支援する活動をスタート― 「スマイルバスケット」第一弾商品を6月29日(金)発売

復興への思いを込めて地元企業と作りあげた「気仙沼マザーズバッグ」「福島の折り紙セット」の2点が登場

株式会社ベネッセコーポレーション(代表取締役社長:福島保、本社:岡山市)の生活事業ブランド「BenesseLifeSmile」(以下、ベネッセライフスマイル)は、「スマイルバスケット」の活動をスタートし、第一弾商品となる「気仙沼の10色から選べる帆布マザーズバッグ」「福島会津木綿柄折り紙(大・小)とハガキセット」の2点を2012年6月29日(金)より発売します。

◆スマイルバスケット web : <http://shop.benesse.ne.jp/mall/smilebasket/>

◆スマイルバスケット facebook : <https://www.facebook.com/benesse.smilebasket>

「スマイルバスケット」は、「たまひよ」「サンキュ!」「ウイメンズパーク」など女性とその家族を対象にしたベネッセの生活事業領域から生まれた活動です。震災の被害を受けた東北、あるいは途上国の産業の振興、子どもの学びやお母さんたちの就業という課題に対して「支援したい」と考えるお客様の思いを、身近な“買い物”という行動を通して継続的な支援へとつなげ、社会に笑顔の輪を広げていくことに取り組みます。

そのため、「スマイルバスケット」では、現地の企業やNPO・NGO、その他活動に共感いただいた方々との協働で生まれたオリジナル商品や、購入すると売上げの一部が寄付される仕組みの商品などをお客様に提供していきます。また、売上げの一部をベネッセ募金(東日本大震災を機に設立した、子ども・女性・高齢者の支援団体への寄付を目的としたベネッセグループ有志による任意団体)に寄付し、活動の様子はフェイスブックやブログを通じて随時発信をしていきます。

【「スマイルバスケット」第一弾商品2点について】

今回、第一弾商品として発売となる「気仙沼の10色から選べる帆布マザーズバッグ」「福島会津木綿柄折り紙(大・小)とハガキセット」の2点は、気仙沼市のバッグ・小物の制作会社「GANBAARE」、福島の地域興しプロジェクト「福の鳥」などの方々のに、社員が実際に何度も足を運んでコミュニケーションをしながら企画実現した商品です。〈商品詳細は次ページ以降をご覧ください〉



【各商品詳細について】

1) 気仙沼の 10 色から選べる帆布マザーズバッグ



【価格】 9,800 円 (税込)

気仙沼のバッグ・小物の制作会社「GANBAARE 株式会社」(<http://www.ganbaare.jp/>)とのコラボレーションで生まれた帆布製のバッグです。

- セット内容／本体、ショルダーベルト、巾着
- 本体／約縦 32×横 40×マチ 13cm、重量 600g
- ショルダーベルト／約長さ 77～141cm、重量 85g
- 巾着／約縦 22×横 17cm
- 生産国／日本

■「気仙沼の 10 色から選べる帆布マザーズバッグ」発売の経緯■

このバッグは、宮城県気仙沼市の現状と、その地で復興のためのメッセージを発信しているギャラリーショップ「縁」(えん)を社員が尋ねた際、その運営を行っている「GANBAARE 株式会社」を知ったことで、企画が実現しました。

気仙沼で水産加工業を扱っていた八葉水産が、被災によって工場や冷蔵施設に壊滅的な打撃を受け、社長の清水敏也氏は社員を解雇し会社をたたむことを考えました。しかし、その後も出社してくる社員、さらには気仙沼の縫製会社で働いていたすばらしい縫製技術を持つ女性たち(気仙沼には昔から漁業や水産加工で使われる前掛けやシートを作るシート屋さんが多数あった)の力を無駄にしたくないと考え、新たにバッグ・小物の制作会社「GANBAARE」(ガンバーレ)を設立されました。現在、その工房で働くのは全員女性で、その多くは子育て中や子育てを終えた方々です。



<『GANBAARE』の工房の様々>

2) 福島会津木綿柄折り紙(大・小)とハガキセット



【価格】1,980 円(税込)

『福の鳥プロジェクト』に参加する「株式会社第一印刷」(<http://www.daiichiinsatsu.co.jp/>)とのコラボレーションで生まれた、伝統ある会津木綿織の風合いを「紙」で再現することにこだわった「会津木綿織のハガキ&折り紙セット」です。

■セット内容 / 折り紙(大):15 柄×各 2 枚、折り紙(小):10 柄×各 4 枚、ハガキ:2 柄各 5 枚

■生産国 / 日本

■「福島会津木綿柄折り紙(大・小)とハガキセット」発売の経緯■

「福島会津木綿柄折り紙(大・小)とハガキセット」が生まれたきっかけは、都内で開催された展示会の復興支援ブースで熱心に福島を PR する『福の鳥プロジェクト』(<http://fukunotori.com/>)のみなさんと出会ったことがきっかけでした。

福の鳥プロジェクトは、もともと「地域興し」を目的に始まったプロジェクトとして、「株式会社第一印刷」のほか福島県内の会社が集まり、福島の魅力を世界に発信しようと、焼鳥分科会や牛乳味噌分科会など、ユニークな活動を行っていました。しかし、震災以降は復興支援のイベントなど福島の復興に向けての活動に重点が置かれています。

福の鳥プロジェクトでは子どもたちが安心できる安全なものを提供するため、また、福島の商品を風評被害から守るため、放射線の測定方法をいち早く習得し、放射能の測定を行い、正しく理解正しく発信する「安心安全確認システム」を構築しています。また、今年 2 月には東京の西立川に「福島応援館」がオープンし、県外に向けても福島の安心・安全を PR する活動をはじめられています。



左:放射線量測定器を使って安全性を確認する福の鳥 PJ メンバー

右:東京・西立川にオープンした福島の復興を応援するアンテナショップ「福島応援館」

【上記商品の発売日・販売方法】

<発売日> 2012 年 6 月 29 日(金)販売開始

<購入方法> web もしくはカタログによる通信販売での直販
ホームページ :<http://shop.benesse.ne.jp/mall/smilebasket/>

注文専用電話:0120-114728(月~土 10:00~20:00 /日曜・祝日・年末年始を除く)

*一部のインターネット回線からはつながらない場合があります。

【「スマイルバスケット」スタートに至る経緯】

ベネッセライフスマイルでは、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の途上国支援の取り組みの一つである「世界寺子屋運動」に賛同し、2012年1月20日より、カンボジアの女性たちが制作したフェアトレード商品「布袋葵のカゴバッグ」【右写真】を販売しました。（バッグの売上金の一部は、日本ユネスコ協会連盟を通して寄付）



この活動に対して、お客様からのご支持と今後へのご期待をいただき、ベネッセライフスマイルとしての継続的な活動のありかたを検討する中で、今回の活動スタートに至りました。上記カゴバッグもスマイルバスケットの商品として引き続き取り扱いを継続していきます。

【ロゴ】

「スマイルバスケット」のロゴは、トヨタ「ReBORN」やサントリー「GREEN DA・KA・RA」など数多くの作品を手掛ける国内屈指のアートディレクターである佐野研二郎さんにデザインしていただきました。

また、佐野さんには、下記で紹介している今後発売予定の「気仙沼トートバッグ」のデザインもお引き受けいただきました。



【スマイルバスケットの今後の予定】

スマイルバスケットでは、今後に向けて、以下のような企画も進めております。

- ◆紛争や災害により厳しい生活を余儀なくされている人々の精神的・経済的自立を支援する「特定非営利活動法人ジェン」と企画した、セルビアの女性たちの手作りの伝統的なルームシューズ「ZEPA」【画像左】
- ◆今回のマザーズバッグに続く「GANBAARE 株式会社」との第2弾となる「気仙沼トートバッグ」（デザインは佐野研二郎さん）【画像中】
- ◆『福の鳥プロジェクト』に参加する工房「空とぶくじら」との、かわいい動物たちを工夫しながら積み重ねて想像力と集中力を育てる組み木の玩具【画像右】



◆スマイルバスケット web : <http://shop.benesse.ne.jp/mall/smilebasket/>

◆スマイルバスケット facebook : <https://www.facebook.com/benesse.smilebasket>

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報部 濱野・坂本・三田村

TEL: 042-356-0657 FAX: 042-356-0722